

FREE ENERGY FOR EVERYONE!

第4の革命

エネルギー・デモクラシー
THE 4TH REVOLUTION
ENERGY AUTONOMY

「100%再生可能エネルギーへのシフトが可能で必要だとい
うことを理解すれば、人々は自ずとこれを推進するだろう」

— ヘルマン・シェーア

未来はいつも可能性を信じた者によって創られる。それに対
する批判の言葉もまた同じだ。「不可能だ、現実的でない」。
その批判者はいつも利益を失いたくない既得権者だ。
ドイツが何をどう変えてきたのか、ヘルマン・シェーアの
言葉に耳を傾けてほしい。

— 田中 優 未来バンク代表、天然住宅共同代表

エネルギーというのは専門家に任せるのではなく、自分たちの
手に取り戻し、自分ごととして取り組むべきものだと思う。

自分の趣味や個性を活かしてエネルギーを考え多くの個人が
「マイプロジェクト」を始めてこそエネルギー革命は実現できる。

— 鈴木菜央 greenz.jp 発行人、株式会社ビオピオ CEO

爆発的な風力発電導入を実現したドイツの
1990年の電力買い取り法、そして2000年
にドイツで制定され、その後太陽光発電の
導入の起爆剤となった「再生可能エネルギー
法」。これら2つの法律を制定させた中心人
物こそ「第4の革命 — エネルギー・デモク
ラシー」のナビゲーターである、ヘルマン・

シェーア氏である。この映画はシェーア氏の
提案により4年がかりで完成。2010年、ドイ
ツで最も観られ、その後のドイツのエネル
ギー政策に影響を与えたドキュメンタリー映
画である。この映画では、著名な環境活動家
やノーベル賞受賞者ムハマド・ユヌス氏、起
業家イーロン・マスク氏や政治家らによって、

これから30年以内に100%再生可能エネ
ルギーへのエネルギーシフトが可能だとい
うことを、様々な角度から分析し、紹介する。こ
の映画は、再生可能エネルギーへの認識を
高め、新しいエネルギー時代への夜明けへと
人々を導くだろう。「新しいエネルギー時代」
へようこそ!



出演：ヘルマン・シェーア
Hermann Scheer (ドイツ) ほか

ドイツ連邦議会議員(社会民主党)であり、ヨーロッ
パ太陽エネルギー協会(EUROSOLAR)会長。ド
イツ国内で太陽光発電を小規模単位で実現させ、
電力会社へ再生可能エネルギーの定額買取りの義

務付けを法案化するなど、ドイツを再生可能エネルギーの世界的リー
ダーへと導いたキーパーソン。もう一つのノーベル賞として知られるライ
ト・ライブリッド賞を受賞。2010年死去。Solare Weltwirtschaft(邦
訳「ソーラー地球経済」、岩波書店、2001年)など著書多数。



監督：カール-A・フェヒナー
Carl-A. Fechner (ドイツ)

ジャーナリスト、監督、プロデューサー。1989年よりフェヒ
ナー・メディア社 CEO。16歳頃から映像制作を学ぶ。22歳
頃にはサハラ砂漠を車で縦断する旅に出る。大学ではメディア
学を学ぶ。フリーランス時代はARDの海外特派員として戦争
報道。湾岸戦争の取材等を行う。1983年、長女誕生を機にフ
リーランサー及び平和活動家として数々のデモに参加。中距
離核弾頭ミサイル配備や核廃棄物輸送反対デモに参加し、拘束された経験もある。1991
年より方針転換。戦争報道等、悲惨な状況を伝えるより、解決方法を提示したいと、
1991年より持続可能性(サステナビリティ)をテーマにTV番組やドキュメンタリー映
画を制作。2010年、4年の歳月をかけて製作したドキュメンタリー「第4の革命」は、
ドイツで13万人を動員。2010年ドイツで最も観られたドキュメンタリーとなる。

配給・宣伝 ユナイテッドピープル film@unitedpeople.jp 「第4の革命」自主上映者は随時募集しています。0470-62-6129

「第4の革命—エネルギーデモクラシー」全国一斉同時上映ウィーク@横浜

自然エネルギー(太陽光)100%での上映会に挑戦! 「mini太陽光発電キット」使用

場所: 横浜市金沢区六浦東1-50-1「関東学院大学金沢八景キャンパス」ベンネットホール(SCC館4階)

日時: 2012年6月19日(火) 12:50~14:30

<申込み不要> 大学生のみ参加できます。一般の方の参加は出来ません。

問合せ先: yasuda85@kanto-gakuin.ac.jp